

水1クラス、水3クラス、金2クラス

授業科目(ナンバリング)	茶道文化ⅢA(AB301)			担当教員	安部直樹 ※柳井駿平		
展開方法	演習	単位数	1単位	開講年次・時期	3年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
不時点前や雪吹点前の習得を通して、もてなしについて考える力を高めることを目的とする。花の取り合わせや「格付け」について理解する。グループ毎にミニ茶会を実施し、茶会の組み立て方や各役割について学び、茶道におけるもてなしを理解する。							⑩⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	雪吹点前の特徴や茶花の真・行・草の生け方の特徴を理解し、説明することができる。				小テスト	5%	
情報収集、分析力	禅語や花について情報を収集し、自己の修養のために役立てることができる。				課題・レポート	10%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	実技(準備・片付け含む)に取り組む中で、グループの中と協調できる。				授業態度	30%	
多様性理解力	「雪吹点前」が実践できる。				実技確認	55%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>実技確認の成績は55%とし、雪吹点前が課題となる。雪吹点前は、雪吹服紗の扱い方(包み方・清め方)が理解されているかなどから評価する。授業態度については30%とし、不時点前や雪吹点前を実践するなど、授業への積極的な参加から評価する。課題とレポートの提出状況については10%とし、ポートフォリオ(manaba)を利用して行う。課題レポートの回答については、回答例を提示しフィードバックする。小テストについては5%とし、2回目と6回目にポートフォリオ(manaba)を用いて行う。実技確認の結果については学生と個別に振り返りの時間を設けてフィードバックを行う。</p>							
授業の概要							
<p>点前については、雪吹点前を完成させることを目標とする。基本となる点前から茶会に応じた各種の点前(雪吹点前、不時点前)や所作の違いを理解する。教材として、茶道文化研究所作成の動画も用いる。授業内で使う抹茶・菓子、その他の消耗品など、1,400円の諸経費が必要である。カリキュラム上、茶道文化ⅢAを履修するためには、茶道文化ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡBの単位を取得することが必須である。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：嶋内 麻佐子著『茶道文化基礎編』九州文化学園茶道文化研究所(2011年) 参考書：長崎国際大学人間社会学部国際観光学科編『観光の地平』学文社(2011年) 指定図書：安部直樹・嶋内麻佐子・正山征洋・山本源太・米田該典著『茶花・薬草・薬木手帖』玄海町(2010年)</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> ・茶室での貴重品の取り扱いを自己管理とする。茶道具を必ず持参する。アクセサリは身につけない。靴下を着用する。遅刻・欠席をしない。 ・次回の授業までに前回の点前の内容を練習しておくこと。 ・点前の修得だけでなく、茶の行事や地域で開催される他流の茶会にも積極的に参加することで幅広い茶道の文化を学んでもらいたい。 							

水1クラス、水3クラス、金2クラス

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	・濃茶点前復習①	濃茶点前の復習。 (安部・柳井)	講義概要(シラバス)を確認する。 教科書 pp. 81～93 を読み、 予習・復習をする。
2	・花生け ・小テスト	茶花の真・行・草の生け方について理解する。さらに、 花入や花の取り合わせについて学ぶ。 (安部・柳井)	教科書 pp. 39～41 読み、予 習・復習をする。
3	・不時点前見本	不時点前の見本を確認し、概要を理解する。 (安部・柳井)	濃茶点前の流れを整理す る。
4	・不時点前稽古①	不時点前の復習。 (柳井)	茶筌飾り・服紗の扱い(使 い服紗・出し服紗・替え服 紗)を予習・復習する。
5	・不時点前稽古②	不時点前の復習。 (柳井)	茶筌飾り・服紗の扱い(使 い服紗・出し服紗・替え服 紗)を予習・復習する。
6	・雪吹点前見本 ・小テスト	雪吹点前の見本を確認し、概要を理解する。 (安部・柳井)	服紗の扱い(使い服紗・雪 吹服紗)を復習する。
7	・雪吹点前稽古①	雪吹棗の包み方、さばき方など服紗扱いを習得する。 (柳井)	教科書 pp. 44～47 を読み、 予習・復習をする。
8	・雪吹点前稽古②	雪吹点前の復習。 (柳井)	雪吹点前の自主的な稽古 をし、点前の流れを整理す る。
9	・雪吹点前稽古③	雪吹点前がどこまで理解されているか確認する。 (柳井)	雪吹点前の自主的な稽古 をし、点前の正しい型を身 につける。
10	・雪吹点前稽古④	雪吹点前の完成を目指す。 (柳井)	雪吹点前の完成を目指し、 自主的な稽古をする。
11	・実技確認	雪吹点前がどこまで理解されているか確認する。 (安部)	雪吹点前の完成を目指す。
12	・実技確認振り返り ・ミニ茶会に向けて	点前確認を振り返り、記録カードを作成する。 ミニ茶会に向けて、役割決めを行う。 (安部・柳井)	点前確認を振り返り、自己 評価する。
13	・ミニ茶会に向けて	ミニ茶会に向けて、役割毎に練習を行う。 (柳井)	各役割(亭主・半東・接待・ 水屋・客)の動きについて 予習・復習をする。
14	・ミニ茶会に向けて	ミニ茶会に向けて、役割毎に練習を行う。 (柳井)	各役割(亭主・半東・接待・ 水屋・客)の動きについて 予習・復習をする。
15	・ミニ茶会	役割に分かれて、おもてなしの実践をする。 (安部・柳井)	各役割(亭主・半東・接待・ 水屋・客)の動きについて 予習・復習をする。